2023年5月11日

講演テーマ

水分補給が大切な“熱中症予防”
社会課題の解決と販促活動が
同時にできる新しいマーケティング手法を教えます。

講演者：熱中症予防声掛けプロジェクト　創業者／事務局長：山下太郎

具体的な講演内容

①熱中症予防がワンランク上の社会課題に、

「国の法改正について　熱中症特別警戒アラートとは？」

②社会貢献活動と販促活動が同時に実現出来る秘密の方法教えます

自治体や消防署更には小・中学校などの公的機関にリーチでき
あなたのエリアの地域住民への販売促進活動も同時に実現！

JEC

弊社が企画運営事務局を推進している

について説明をさせて頂きます

活動主旨

「熱中症予防声かけプロジェクト」は、全国の自治体・企業や
メディア・地域コミュニティなどが**官民一体**で、熱中症予防の
声かけの輪を広げていくプロジェクトです。2011年に発足しました。

人・自治体・企業・・・　みんなで声かけをすれば、熱中症は防げます。
わたしたちは、「声をかける」というコミュニケーションの力で
熱中症による死亡者をゼロにすることを目指しています。

熱中症予防 声かけプロジェクト
～ひと涼みしよう～

活動実績

① プロジェクトロゴ活用

② 行政向け啓発ツール

③ 官民一体・啓発イベント

④ その他の取組事例

① プロジェクトロゴ活用

活動実績

熱中症予防に関連する商品や広告・販促を通じて
国民に幅広く、熱中症予防を呼びかけています。一部を掲載

カンロ

ブルボン

サクマ製菓

森永製菓

① プロジェクトロゴ活用

活動実績

熱中症予防に関連する商品や広告・販促を通じて
国民に幅広く、熱中症予防を呼びかけています。一部を掲載

① プロジェクトロゴ活用

活動実績

全国の様々な自治体も、プロジェクトロゴを使ったツールを作成。
場やツールを通じて幅広く、国民に予防を呼びかけています。

啓発のぼり

温度計付きカード

啓発ちらし

啓発マグネットシート

② 行政向け 啓発ツール（無料配布）

活動実績

啓発冊子やポスター、うちわなどの無料提供を通じて
全国の行政の熱中症予防啓発活動を応援しています。

全国の自治体に提供

啓発うちわ　10万枚　／　ポスター　1,000枚
（応援：塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会）

片面はブランドPR
片面は予防啓発

啓発うちわ＋飴
6,000セット
（応援：カンロ）

啓発うちわ＋甘酒
3,000セット
（応援：森永製菓）

全国の消防機関に提供

啓発冊子　＆　汗ふきシート　2万セット
（応援：花王）

② 教育現場向け 啓発ツール（無料配布）

活動実績

啓発冊子やポスター、うちわなどの無料提供を通じて
全国の行政の熱中症予防啓発活動を応援しています。

全国の小学校に提供

啓発冊子
10万部（応援：キリンビバレッジ）
10万部（応援： 森永製菓）

全国の高等学校に提供

啓発うちわ　8万枚
（応援：FT資生堂）

片面はブランドPR
片面は予防啓発

② 行政や教育現場 向け啓発ツール風景

活動実績

ツールは施設に掲示したり、イベントや講習会などで活用されます。
行政が住民へ予防を呼びかける際に、ブランドが一緒にPRされます。

③ 官民一体・啓発イベント

活動実績

関連省庁や自治体も協力する官民一体の啓発イベントを通じて
国民の皆さまに直接、熱中症予防を呼びかけています。

熱中症予防声かけ出陣式（全国の自治体がプロジェクトと一緒に熱中症の出陣式を一斉に実施）

熱中症対策推進議連：笹川 博義議員

熱中症対策推進議連：丸川 珠代議員

農林水産省

気象予報士

千代田保健所

総務省消防庁

③ 官民一体・啓発イベント

活動実績

関連省庁や自治体も協力する官民一体の啓発イベントを通じて
国民の皆さまに直接、熱中症予防を呼びかけています。

熱中症予防声かけイベント　@新宿西口
(後援:新宿区／協力:熱中症関連商品を持つ7企業)

熱中症予防声かけイベント　@有楽町
(後援:千代田区／協力:熱中症関連商品を持つ7企業)

③ 官民一体・啓発イベント

活動実績

関連省庁や自治体も協力する官民一体の啓発イベントを通じて
国民の皆さまに直接、熱中症予防を呼びかけています。

大阪道頓堀
(後援:大阪市／協力:森永製菓)

名古屋駅JRゲートタワー
(後援:名古屋市／協力:キリンビバレッジ)

福岡JR天神駅前
(後援:福岡市／協力:森永製菓)

その他の取組事例

夏季に開催されるスポーツ大会やイベントなど、熱中症発生リスクが高いシーンで適切な熱中症対策を行うアドバイザーを養成することを目的に展開中。

一般の方への適切な呼びかけの方法や、イベントを開催する際に行うべき準備、運営上の工夫などを、実践的に学んでいただいています。

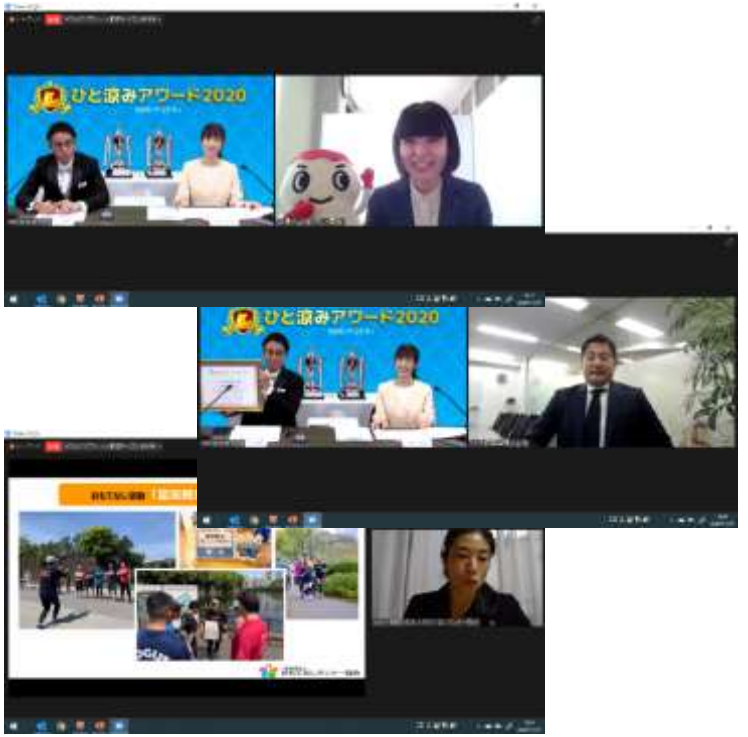
2017年5月開講～2022年3月までに、 約2万人が受講。

ひと涼みアワード

「ひと涼みアワード」は、賛同会員が実施した、熱中症予防啓発活動を表彰する式典。
毎年秋に開催し、2022年で11回目となりました。
熱中症に関わる行政・企業・民間団体の皆さまが一堂に会する、大変貴重な機会です。

2019年までは、東京ウィメンズプラザで開催

2020年・2021年は、オンラインで開催



講演テーマ

水分補給が大切な“熱中症予防”
社会課題の解決と販促活動が
同時にできる新しいマーケティング手法を教えます。

講演者：熱中症予防声掛けプロジェクト　創業者／事務局長：山下太郎

具体的な講演内容

①熱中症予防がワンランク上の社会課題に、

「国の法改正について　熱中症特別警戒アラートとは？」

②社会貢献活動と販促活動が同時に実現出来る秘密の方法教えます

自治体や消防署更には小・中学校などの公的機関にリーチでき
あなたのエリアの地域住民への販売促進活動も同時に実現！

①熱中症がワンランク上の社会課題へ！！

熱中症警戒アラートと
熱中症特別警戒アラートについて

実はビジネスチャンスです！！

熱中症警戒アラートについて　2020年～実施

環境省ホームページより抜粋　https://www.env.go.jp/press/press_01497.html

環境省
Ministry of the Environment

本文へ　English　キーワード検索　検索　ヘルプ

ホーム | 環境省について | 政策 | 法令 | 報道・広報 | 白書・統計 | 申請・手続き

2023年04月18日　保健対策

令和５年度「熱中症警戒アラート」の運用開始について

＜気象庁同時発表＞

環境省と気象庁は、令和５年４月26日（水）に、令和５年度の「熱中症警戒アラート」の運用を開始します。

「熱中症警戒アラート」は、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される場合に、暑さへの「気づき」を呼び掛け、国民の熱中症予防行動を効果的に促すための情報です。

１．背景・目的

近年、熱中症による救急搬送人員、死亡者数が高い水準で推移していることから、環境省と気象庁は令和３年度から「熱中症警戒アラート」を全国で運用しています。熱中症警戒アラートは、暑さ指数（WBGT）（※１）に基づき、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される場合に、暑さへの「気づき」を呼びかけ、国民の熱中症予防行動を効果的に促すための情報です。令和５年度についても引き続き全国で運用を開始します。

（※１）暑さ指数（WBGT）とは、気温、湿度、輻射熱（日差し等）、風等から成る熱中症の危険性を示す指標である。

２．「熱中症警戒アラート」の運用について（別添１、別添２参照）

（１）発表単位

・全国を58に分けた府県予報区等を単位として発表
（北海道、鹿児島県、沖縄県を細分化）

（２）発表基準

・発表対象地域内の暑さ指数（WBGT）算出地点のいずれかで日最高暑さ指数33以上と予測した場合に発表

（３）発表タイミング

・前日の17時及び当日の朝５時に最新の予測値を基に発表

（４）期間

・令和５年４月26日（水）17時から同年10月25日（水）朝５時発表分まで

（５）情報提供方法

・環境省熱中症予防情報サイト（※２）における、熱中症警戒アラート及び暑さ指数の掲載
・個人向けメール配信サービス（※３）による、熱中症警戒アラート及び暑さ指数の配信
・「環境省」LINE公式アカウント（※４）による、熱中症警戒アラート及び暑さ指数の配信

（※２）環境省熱中症予防情報サイト
（ＰＣ）https://www.wbgt.env.go.jp/
（スマートフォン）https://www.wbgt.env.go.jp/sp/
（携帯電話）https://www.wbgt.env.go.jp/kt/
熱中症予防情報サイトでは、熱中症警戒アラートのほか、全国841地点（別添３参照）における暑さ指数(WBGT)の予測値・実況値等、熱中症予防情報の提供を行っています。

（※３）個人向けメール配信サービス（別添４参照）
本サービスは、環境省が「環境省熱中症予防情報サイト」にて提供している暑さ指数（WBGT)の予測値及び実況値を、メール配信を行うバイザー(株)が運営する高速メール配信システム「すぐメール」により個人向けに配信するサービスです。
利用を希望される方は、「環境省熱中症予防情報サイト」のリンクページからバイザー(株)のサイト上の利用規約をお読みいただき、同意の上、お申し込みいただくようお願いします。

（※４）「環境省」LINE公式アカウント
環境省は、LINE公式アカウント「環境省」を開設し、熱中症予防対策の情報配信をしています。スマートフォンなどのLINEアプリで、LINE公式アカウントを友だち追加していただくと、熱中症警戒アラートの発表や暑さ指数の情報を、受け取ることができます。
利用を希望される方は、「環境省熱中症予防情報サイト」のリンクページを御確認いただき、LINEアプリで「環境省」を「友だち」に追加の上、御利用ください。

熱中症特別警戒アラートとは？　2024年～実施

熱中症特別警戒アラートとは＝警戒アラートに加え、さらに深刻な健康被害が予想される場合に出るアラート、更に自治体は、事前に公共施設や民間施設を対象に冷房が効いた部屋を「クーリングシェルター」として指定し、特別警戒アラートが発表された場合には開放することが求められます。 2024年の夏から運用開始されます・・・

熱中症対策強化 特別警戒アラートとは

毎年、熱中症で死亡する人が後を絶たない中、熱中症対策を強化するために成立した改正法では、「熱中症警戒アラート」に加え、さらに深刻な健康被害が予想される場合に、一段上の「熱中症特別警戒アラート」が新たに発表されることになります。

https://www.nhk.or.jp/shutoken/shutobo/20230501a.htmlより抜粋

熱中症に「特別警戒アラート」新設へ…冷房施設をシェルター指定

2023/02/25 23:15　この記事をスクラップする

猛暑で年々深刻化する熱中症の対策として、政府は、従来の熱中症警戒アラートより一段上の「熱中症特別警戒アラート」を新設する方針を固めた。発表時に自治体が冷房のある施設（クーリングシェルター）を住民に開放することが柱。２０２４年夏の運用開始を目指す。

暑さ指数に応じた熱中症予防策

暑さ指数	
新設 極端な高温の予測	特別警戒アラート
33以上	警戒アラート
31以上（危険）	外出はなるべく避ける。運動は原則中止
28以上（厳重警戒）	外出時は炎天下を避ける。激しい運動は中止
25以上（警戒）	激しい運動では約30分ごとに休憩
21以上（注意）	運動時に死亡事故が起きる可能性がある。積極的な水分補給

※環境省の熱中症環境保健マニュアル2022などに基づく

熱中症警戒アラートは、環境省と気象庁が２０年から運用している。気温や湿度、日差しの強さなどから「暑さ指数」を算出し、３３以上と予測される日に、都道府県ごとに発表。冷房の使用やこまめな水分補給、外出の自粛などを呼び掛けている。昨夏は全国で延べ８８９回発表された。

https://www.yomiuri.co.jp/national/20230225-OYT1T50333/より抜粋

熱中症特別警戒アラートが及ぼす影響について・・・・・

熱中症特別警戒アラートとは＝警戒アラートに加え、さらに深刻な健康被害が予想される場合に出るアラート、更に**自治体は、事前に公共施設や民間施設を対象**に冷房が効いた部屋を**「クーリングシェルター」として指定し、特別警戒アラートが発表された場合には開放**することが求められます。 **2024年の夏から運用開始されます・・・**

ということは全国の自治体は

来年度に備えて、今年試験運用でクーリングシェルターを作ったり、
来年度はシェルターを作らないといけなくなる・・・

ん？自治体だけか！？

対象は・・・公共施設や民間施設と書いてあるという事は

公立の小学校や中学校そして高校などの教育機関も連動する・・・

熱中症特別警戒アラートが及ぼす影響について・・・・・・

クーリングシェルターに水分補給スペースがなかったら
シェルターが成立しないのではないのか・・・・

ということは

**ウォーターサーバーを置いて頂ける
チャンスが増える・・・・！！**

**このネタで、エリアの自治体や公共施設や教育施設に
アタックすると社会貢献をしながら売り上げがUPできるかも・・・**

お気づきでしょうか？

熱中症予防声掛けプロジェクトと連携すれば

気軽にリーチできない、これからニーズの高くなるであろう

自治体や公的機関や教育機関と社会貢献活動を

通じて関係性が持て、販促活動が同時に実現できます。

② 行政向け 啓発ツール（無料配布）

活動実績

啓発冊子やポスター、うちわなどの無料提供を通じて
全国の行政の熱中症予防啓発活動を応援しています。

全国の自治体に提供

啓発うちわ　10万枚　／　ポスター　1,000枚
（応援：塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会）

片面はブランドPR
片面は予防啓発

啓発うちわ＋飴
6,000セット
（応援：カンロ）

啓発うちわ＋甘酒
3,000セット
（応援：森永製菓）

全国の消防機関に提供

啓発冊子　＆　汗ふきシート　2万セット
（応援：花王）

② 教育現場向け 啓発ツール（無料配布）

活動実績

啓発冊子やポスター、うちわなどの無料提供を通じて
全国の行政の熱中症予防啓発活動を応援しています。

全国の小学校に提供

啓発冊子
10万部（応援：キリンビバレッジ）
10万部（応援： 森永製菓）

全国の高等学校に提供

啓発うちわ 8万枚
（応援：FT資生堂）

片面はブランドPR
片面は予防啓発

自治体や公的機関の数（実績数）

2022年3月31日現在累積数字

全国1718の自治体
1683自治体連携実績

全国726消防機関
522機関連携実績

全国19,525の公立小学校
5,321校連携実績

講演テーマ

水分補給が大切な“熱中症予防”
社会課題の解決と販促活動が
同時にできる新しいマーケティング手法を教えます。

講演者：熱中症予防声掛けプロジェクト　創業者／事務局長：山下太郎

具体的な講演内容

①熱中症予防がワンランク上の社会課題に、

「国の法改正について　熱中症特別警戒アラートとは？」

②社会貢献活動と販促活動が同時に実現出来る秘密の方法教えます

自治体や消防署更には小・中学校などの公的機関にリーチでき
あなたのエリアの地域住民への販売促進活動も同時に実現！

自治体への啓発ツール無料提供企画による
啓発×販促活動

地域自治体だけでなく地域住民の方に

自治体の熱中症予防活動を通じて

御社の販促活動ができる企画です。

自治体との連携啓発×販促活動の企画主旨とスキーム

地域の熱中症による被害を減らすために、
プロジェクト、自治体と民間企業（御社）の官民一体で
全員がWINな啓発活動をしましょう！

御社(**応援企業**)

×

熱中症予防 声かけプロジェクト

熱中症対策に欠かせない
水分補給を推進する事を事業としている

熱中症予防の声かけを官民一体で推進
既に1683の自治体と連携している

御社広告入り啓発ツール
プロジェクトを通じて自治体に無料提供

地域の自治体

地域住民への熱中症対策・啓発を強化

健康イベント、講習会などで啓発ツールを配布

地域住民

公共性の高い
自治体の活動を通じて**御社を知る**

結果、御社に興味を持つ

おすすめ無料配布用 啓発ツール① 啓発うちわ

住民が喜んで受け取ってくれると、自治体から大人気の啓発うちわ。
広告枠が大きいのが特長！うちわとして長く使われるツールです。

裏側：啓発メッセージ

直径210mm　両面カラー印刷
NewDVL39.5kg　指穴抜き

表側：応援企業オリジナル広告（事例）

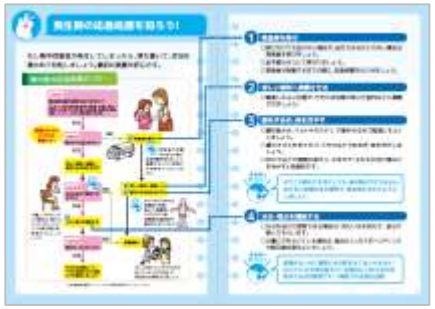
おすすめ無料配布用 啓発ツール② 啓発冊子

しっかりと啓発できる！と自治体から常に需要がある啓発冊子。
広告はもちろん、御社と熱中症対策を強く結びつける情報や、
商品ラインナップ、レシピ紹介、クーポンなどの掲載も可能！

表紙イメージ

仕上がりA5サイズ
表紙含み　全16ページ
フルカラー印刷
コート50.5kg

啓発ページ（PJ作成）



応援企業オリジナル広告（事例）

無料引換券付き
(特定CVSで使用可能)

キャンペーン告知

割引クーポン付き
(自社店舗で使用可能)

熱中症対策に関する
データ

啓発グッズ　活用シーン

自治体に来た地域住民にだけでなく、自治体が主催する健康イベントや講習会などの様々な地元住民との啓発の場で活用されます。

職員が住民へ直接呼びかける中で、ブランドも一緒にPRされます！

（過去の報告写真より抜粋）

実施までの流れについて

① 自治体に　案内セットをメールor郵送で案内

プロジェクトから対象機関の担当者様に向けて、
啓発ツール無料提供の案内セットを郵送します。

↓　啓発ツールの
サンプルを同封

② 自治体から 申込みを受付

自治体の担当者様が、申込書に必要数などを記入。
メールまたはFAXで、事務局まで申込みいただきます。

③ 自治体に 啓発ツールを郵送

申込日から原則7日以内に、担当者様へ啓発ツールを郵送。
健康イベントや講習会などの場で、活用されます。

↓　申込みリストイメージ

申込期間終了後に、「申込みリスト」を提出
啓発期間終了後に、「活動報告書」を提出

企画メリット

官民一体プロジェクトのネットワークを活用し、
自治体や消防署に感謝されながら関係値が築ける！

自治体の職員が地域住民に直接説明するから、
説得力と信頼性の高い啓発＆エリア住民へのPRを実現！

広告スペースでは、商品紹介はもちろん、
キャンペーン告知やクーポン/キャンペーン展開も可能！

小学校への啓発ツール無料提供企画による
啓発×販促活動

地域の小学校だけでなく地域住民の方に

教育現場での熱中症予防活動を通じて

御社の販促活動ができる企画です。

小学校との連携啓発×販促活動の主旨とスキーム

熱中症による被害を減らすために、
プロジェクト、教育機関と民間企業（御社）の官民一体で
全員がWINな予防啓発をしましょう！

御社(**応援企業**)

×

熱中症予防 声かけプロジェクト

熱中症対策に欠かせない
水分補給を推進する事を事業としている

熱中症予防の声かけを官民一体で推進
全国の小学校と連携可能

御社広告入り啓発ツール
プロジェクトを通じて小学校に無料提供

地域の小学校

大事な生徒への熱中症対策・啓発を強化

保健指導、授業の場などで啓発ツールを活用

地域子供・親

捨てられない教材として
子供を通じて親が御社を知る

結果、御社に興味を持つ

無料配布用 啓発冊子　内容構成

啓発冊子は、保健指導などの副教材としてとても喜ばれます。
低学年でもしっかり理解できるよう、分かりやすく展開します。

表紙

P1　P2

P3　P4

裏表紙

P5

P6

P6(右側)は　御社より支給の広告を掲載。

P5(左側)は、広告内容に合わせた内容で構成。
水分補給や、手作りドリンクレシピなど
ウォーターサーバー利用につながるよう展開します。

啓発冊子　活用イメージ

ツールは、小学校での保健指導や授業などの場で活用されます。
学校の先生から生徒たち（直接的）や親（間接的）に向けて、
捨てられない教材として価値の高い啓発企画です！

（過去の報告写真より抜粋）

全体フロー

① 案内先小学校 を エリアで選定

② 小学校に　案内セットを郵送

プロジェクトから対象小学校の担当者様に向けて、
啓発ツール無料提供の案内セットを郵送します。

↓ 啓発冊子の
サンプルを同封

③ 小学校から 啓発冊子の申込みを受付

小学校の担当者様が、申込書に必要数などを記入。
メールまたはFAXで、事務局まで申込みいただきます。
(保健室用ドリンクも先着で受付)

④ 小学校に 啓発冊子を郵送

申込日から原則7日以内に、担当者様へ啓発冊子を郵送。
小学校の保健指導や授業などの場で、活用されます。
(保健室用ドリンクも発送、活用)

申込期間終了後に、「申込み学校リスト」を提出
啓発期間終了後に、「活動報告書」を提出

所在地・小学校名・部数リストを提出

企画メリット

官民一体プロジェクトのネットワークを活用し、
教育機関に感謝されながら関係値が築ける！

学校の先生が授業などで活用するため捨てられず、
説得力と信頼性の高い啓発＆エリア住民へのPRを実現！

広告スペースでは、商品紹介はもちろん、
キャンペーン告知やクーポン/キャンペーン展開も可能！

自治体・小学校企画の実施エリアに関して

もちろん、エリアを絞ってご案内する事も可能です。

強化したいエリアだけ
実施したい！

予算に応じて
部数やエリアなどを
決定することも可能！

継続的な啓発活動に関して

自治体職員や公的職員から信用と実績があるプロジェクトと連携した公的職員やお客様向けの<u>オリジナル啓発チラシ</u>を作成し<u>継続的なCSV活動</u>につなげる

夏の期間

継続的なタッチポイントを CSV活動の一環として実施可能

冬の期間

最後に

熱中症予防声掛けプロジェクトと連携すれば

なかなかリーチできないがこれからニーズの高い

自治体や公的機関や教育機関と

社会貢献活動を通じて実績や関係性が持て

同時に、地域の住民に販促活動が実現できます！

是非、一緒に熱中症予防活動を推進しましょう！！

熱中症予防 声かけプロジェクト
～ひと涼みしよう～

熱中症予防声かけプロジェクト　企画運営事務局
JEC 一社）日本エンパワーメントコンソーシアム

〒150-0022　東京都渋谷区恵比寿南3-9-16　　ガーデンヒル恵比寿南5F

<TEL>　　03-5720-5211
<FAX>　　03-5720-2256

<メール>　　info@jpdesign.jp／

担当：辰巳（たつみ）までお気軽にお問合せください